

専門基礎分野 20科目 21単位 510時間

専門職としての科学的思考、人間の健康に関する問題解決に必要な基礎的知識を学ぶ。
また、保健医療福祉制度と他職種の役割を理解し、社会資源を活用するための知識を学ぶ。

人体の構造と機能

科目名	解剖生理学 I (総論) Anatomy and Physiology I			講師名	川越 礼子
学年	1年	講義時期	前期	単位・時間数	1単位 (15)

講義のねらい	人体を構成している組織・細胞の構造と機能を知り、それが人体すべてにどのような意味を持ち、生命維持や生活にどのように関与しているのかを学ぶ。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人体の基本的構造が理解できる。 2. 血液成分と機能について理解できる。 3. 血液循環（体循環、肺循環、微小循環）について理解できる。 				
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人体の基本的構造 2. 血液成分と機能（赤血球、白血球、血小板、血漿） 3. 血管の構造と血液循環 4. ポンプとしての心臓 5. スターリングの法則 6. 細胞と器官、臓器（胃、肝、肺、腎） <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 毎回復習をかねて前回の講義内容についてショートテストを行います。</p> </div>				
評価方法	筆記試験	試験予定	1年次9月		
参考書	解剖生理学（医学書院）				
その他	各治療論を受講するには、本科目の合格が必要である。				

人体の構造と機能

科目名	解剖生理学Ⅱ（形態、維持機能） Anatomy and Physiology Ⅱ			講師名	川越 礼子
学年	1年	講義時期	通年	単位・時間数	1単位（30）

講義のねらい	身体の構造及び運動機能・生命維持の原動となる器官の形態（構造）と機能について学ぶ。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 骨格系、筋系における人体の正常な形態（構造）と機能を理解できる。 2. 呼吸器、循環器、泌尿器、消化器系における人体の正常な形態（構造）と機能を理解できる。 				
講義内容 〈形態〉	<ol style="list-style-type: none"> 1. 筋肉（筋肉エネルギー）・骨の機能 2. 骨の構造とはたらき 3. 筋肉、神経について 4. 骨格と関節 				
〈維持機能〉	<ol style="list-style-type: none"> 1. 呼吸に関する器官とその働き 2. 循環に関する器官とその働き（心臓血管系・血圧について） 3. 胎児循環 4. リンパ系の循環 5. 排泄に関する器官とその働き（腎臓・膀胱） 6. 消化に関する器官とその働き（胃・小腸・肝臓・膵臓） 				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 毎回、復習をかねて前回の講義内容についてショートテストを行います。</p> </div>				
評価方法	筆記試験	試験予定	1年次12月		
参考書	解剖生理学（医学書院）				
その他					

人体の構造と機能

科目名	解剖生理学Ⅲ (調節と統合、継続性) Anatomy and Physiology Ⅲ			講師名	茂泉 佐和子 <small>もいずみ</small>
学年	1年	講義時期	通年	単位・時間数	1単位 (30)
講義のねらい	1. 人体の諸機能が統合して生命を維持するために必要な調節機構について学ぶ。 2. 人間の種族保存の本能、しくみおよび、種を維持していくための生殖機能について学ぶ。				
学習目標	1. 神経組織の構造・興奮伝達の仕組み、中枢神経系の働きについて理解できる。 2. 脳の構造と機能各感覚器の仕組みについて理解できる。 3. 脊髄の構造と機能、脊髄神経、自律神経の働きについて理解できる。 4. 生殖器の機能、妊娠・分娩のメカニズムについて理解できる。				
講義内容 〈調節と統合〉	1. 神経組織の構造・興奮伝達の仕組み 2. 中枢神経系について 3. 脳の構造と機能 4. 脊髄の構造と機能 5. 脊髄神経・自律神経 6. 視覚・聴覚・嗅覚・味覚・皮膚感覚・平衡感覚の仕組み 7. 内分泌系の機能・ホルモンの作用				
〈継続性〉	1. 生殖器系について 2. 妊娠・分娩について				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 覚えることが多いですが、基本事項をしっかりと覚えた上で、体のメカニズムや病態との関連を理解してください。</p> </div>				
評価方法	筆記試験	試験予定	1年次12月		
参考書	解剖生理学 (医学書院)、そのほかプリントを配布します。				
その他					

人体の構造と機能

科目名	生化学 Biochemistry			講師名	杉崎 紀子
学年	1年	講義時期	前期	単位・時間数	1単位 (30)

講義のねらい	生体内の化学反応について理解し、健康の維持、病気の改善のための基礎的知識を学ぶ。				
学習目標	1. 人体を構成している化学物質の性質、機能、その分布及びこれらの物質の代謝について理解できる。				
講義内容	<p>1. 生体を構成している物質</p> <ul style="list-style-type: none"> ①糖質について (単糖類・多糖類の構造と性質) ②脂質について ③タンパク質について ④核酸について ⑤水や無機質について ⑥ホルモン <p>2. 生体内の物質代謝</p> <ul style="list-style-type: none"> ①酵素 ②ビタミンと補酵素 ③糖質代謝 ④脂質代謝 ⑤タンパク質代謝 ⑥核酸代謝 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 人間が生きていくために必要な生体内の化学物質や分子の構造と機能、またそれらの代謝に関する知識を習得します。 講義の他に実験も入れてありますので楽しく学んでいきましょう。</p> </div>				
評価方法	筆記試験	試験予定	1年次9月		
参考書	専門基礎分野 人体の構造と機能【2】 生化学 (医学書院)				
その他					

疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論 I 病理学 Pathology	講師名	井上 雅史
学年	1 年	講義時期	通年
		単位・時間数	1 単位 (30)

講義のねらい	生体に起こる病的な障害、いわゆる疾病における形態、機能及び代謝の変化について学ぶ。		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生体の反応と恒常性（ホメオスタシス）について理解できる。 2. 免疫のしくみについて理解できる。 3. 腫瘍の種類、原因、発生のしくみ、体に与える影響が理解できる。 4. 循環障害の原因、発生のしくみ、体に与える影響について理解できる。 5. 炎症の原因、発生のしくみ、体に与える影響について理解できる。 		
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 体腔について 2. 内分泌・外分泌について 3. 免疫について 4. 腫瘍（新生物）について（体細胞が癌細胞になる仕組み） 5. 良性腫瘍・悪性腫瘍について 6. 循環障害（血栓・塞栓、ショック） 7. 炎症について 8. アレルギーについて <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【前任講師井上 泰先生が執筆、翻訳した書籍】</p> <p>①学生のための疾病論 人間が病気になるということ（医学書院）</p> <p>②これだけは知っておきたい疾病のなりたち（医学書院）</p> <p>③なぜ？がなるほど！病態生理絵解きゼミナール（メディカ出版）</p> <p>④病理形態学で疾病を読む（医学書院）</p> <p>*とてもわかりやすい本です、ぜひ読んでください。図書室にもありますし、図書展示の際に購入もできます。</p> </div>		
評価方法	筆記試験	試験予定	1 年次12月
参考書	疾病の成り立ちと回復の促進① 病理学（メヂカルフレンド社）		
その他			

疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論Ⅱ 微生物学 Microbiology		講師名	伊豆原 るな
学年	1年	講義時期	前期	単位・時間数
				1単位 (30)

講義のねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 微生物の特徴と宿主の性質、微生物に対する宿主の反応を学ぶ。 2. 免疫と感染症に関する基礎的知識を学ぶ。 			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 微生物の概要、一般的特徴、その性質と宿主の反応を理解できる。 2. 感染のメカニズムと免疫のしくみを理解できる。 3. 主な感染症とその診断・予防・治療法について理解できる。 			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 微生物の概要 2. 細菌の概要、細菌の構造と染色法、細菌の培養と分類 3. ウイルス、原虫の分類 4. 感染と発病 5. 感染源と感染経路、感染症の予防 6. 免疫学 <ol style="list-style-type: none"> ①免疫の概要 ②アレルギー 7. 化学療法 8. 感染症 <ol style="list-style-type: none"> ①気道感染症 ②腸管感染症 ③尿路感染症 ④性感染症 ⑤皮膚・粘膜の感染症 ⑥その他 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 感染症の基礎知識が十分習得されるようわかりやすい講義をします。また、毎回小テストをします。予習・復習をし、出席して授業をよく聞くこと。</p> </div>			
評価方法	筆記試験	試験予定	1年次9月	
参考書	専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 微生物学 (医学書院)			
その他				

疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	治療論 I Therapeutics I	①呼吸器	講師名	①堀江 美正	
		②循環器・血液		②綾部 征司 大坂 学	
学年	①1年	講義時期	①後期	単位・時間数	1単位(30)の内の(15)
	②1年		②後期		1単位(30)の内の(15)

講義のねらい	呼吸器、循環器、造血器の障害により出現する症状のメカニズムと検査、治療および処置を理解し、看護を展開するための基礎知識を学ぶ。				
学習目標	<p>〈呼吸器〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 呼吸器系の障害により現れる症状について原因・病態生理を理解できる。 疾患の診断に必要な検査及び治療法を理解できる。 <p>〈循環器〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 循環器系（心臓・血管）の障害により現れる症状の原因・病態生理を理解できる。 疾患の診断に必要な検査及び治療法を理解できる。 <p>〈血液〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 造血器の障害によって現れる症状について原因・病態生理を理解できる。 疾患の診断に必要な検査及び治療法を理解できる。 				
講義内容	<p>①呼吸器</p> <ol style="list-style-type: none"> 呼吸器の解剖 呼吸のメカニズムと呼吸の生理（酸塩基平衡も含む） 呼吸器症状と病態生理 換気の異常を来す疾患について 感染症、肺癌、結核、慢性閉塞性肺疾患 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【担当講師からのメッセージ】</p> <p>呼吸器で扱う分野は感染症、腫瘍、循環、膠原病、アレルギーのみならず COPDや睡眠時無呼吸症候群など多岐にわたります。中でも肺がんや肺炎は死亡原因の上位を占めており、今後、高齢化が進んでいくにあたって、これらの正確な知識を身につけておくことは将来必ず役に立つと思います。毎回特に重要なポイントをわかりやすく講義していきます。</p> </div> <p>②循環器</p> <ol style="list-style-type: none"> 心臓・血管の構造と機能 循環系を評価する検査の見方 心臓カテーテル検査、心電図 生命維持機能を障害する疾病 高血圧症、虚血性心疾患、心不全、心筋症、弁膜症、不整脈など <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【担当講師からのメッセージ】</p> <p>とっつきにくい、理解しにくい、と思われがちな循環器領域ですが、少しずつでも深められるようになると役に立つと思います。</p> </div> <p>③血液</p> <ol style="list-style-type: none"> 血液の生理と造血のしくみ 造血機能を障害する疾病 赤血球系の疾患／貧血、多血症、関連する検査 白血球系の疾患／白血球増加症、白血球減少症（白血病・骨髄異形成症候群） リンパ網内系疾患／異常蛋白血症 出血性疾患 				
評価方法	筆記試験	試験予定	1年次12月		
参考書	①専門分野Ⅱ 成人看護学2		呼吸器（医学書院）		
	②専門分野Ⅱ 成人看護学3		循環器（医学書院）		
	②専門分野Ⅱ 成人看護学4		血液・造血器（医学書院）		
その他	本科目受講には、解剖生理学Ⅰの合格が必要である。				

疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	治療論Ⅱ TherapeuticsⅡ	①消化管	講師名	①森下 慎二	
		②肝・胆・膵		②藤江 肇	
学年	①1年	講義時期	①後期	単位・時間数	①1単位(30)の内の(15)
	②1年		②後期		②1単位(30)の内の(15)

講義のねらい	消化器の障害により出現する症状のメカニズムと検査、治療および処置を理解し、看護を展開するための基礎知識を学ぶ。				
学習目標	<p>〈消化管〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 消化管の障害により現れる症状について原因・病態生理を理解できる。 疾患の診断に必要な検査及び治療法を理解できる。 <p>〈肝・胆・膵〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 肝臓、胆嚢、膵臓系の疾患により現れる症状について原因・病態生理を理解できる。 疾患の診断に必要な検査及び治療法を理解できる。 				
講義内容	<p>①消化管</p> <ol style="list-style-type: none"> 消化器系が障害された対象の症状とそのメカニズム 消化器系が障害された対象への検査 消化器系が障害された対象に使用する薬物 消化器系の疾患とその特徴 食道、胃十二指腸潰瘍、腸（大腸癌、ポリープ、イレウスなど） <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 おなかの病気はわりと多く、臨床の場でよく遭遇します。しっかり理解すると、将来にわたってかなり役に立ちますが、逆にありふれているだけに結構難しいかも。けれど、しっかり学習すれば試験は簡単です。</p> </div> <p>②肝・胆・膵</p> <ol style="list-style-type: none"> 肝臓について <ol style="list-style-type: none"> 肝臓の解剖生理 肝機能が障害された時の症状とそのメカニズム 黄疸、肝性脳症、腹水、門脈圧亢進 肝臓の代表的な疾患と検査、治療 肝硬変、肝炎、肝癌等 膵臓・胆道系 <ol style="list-style-type: none"> 膵臓・胆道系の解剖生理 膵臓・胆道系の機能が障害された時の症状とそのメカニズム 膵臓・胆道系の代表的な疾患と検査、治療 膵臓癌、胆嚢癌、胆石症など <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 肝臓は薬やお酒の処理に大切な働きをする臓器です。みなさんしっかり理解して健康を維持しましょう。</p> </div>				
評価方法	筆記試験	試験予定	1年次12月		
参考書	①専門分野Ⅱ 成人看護学5 消化器（医学書院） ②専門分野Ⅱ 成人看護学5 消化器（医学書院）				
その他	本科目受講には、解剖生理学Ⅰの合格が必要である。				

疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	治療論Ⅲ Therapeutics Ⅲ	①運動器	講師名	①矢部 裕一郎	
		②脳神経		②今井 英明 黒川隆史	
学年	①1年	講義時期	①後期	単位・時間数	①1単位(30)の内の(12)
	②1年		②後期		②1単位(30)の内の(17)

講義のねらい	運動器・脳神経系の障害により出現する症状のメカニズムと検査、治療および処置を理解し、看護を展開するための基礎知識を学ぶ。				
学習目標	<p>〈運動器〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 運動器の形態異常と機能異常である骨格・筋系の障害および診断・治療について理解できる。 2. 障害が人体の生理機能に及ぼす影響と、日常生活動作の変化を理解し、運動器疾患患者の看護を行うために必要な基礎的知識を理解できる。 <p>〈脳神経〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 脳神経障害の原因、診断、検査の目的と方法について理解できる。 2. 治療に伴う合併症の管理について理解し、脳神経系疾患患者の看護を行うために必要な基礎的知識を理解できる。 				
講義内容	<p>①運動器</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 整形外科における診察と治療 2. 先天性疾患 3. 骨折について 4. 脱臼・捻挫・打撲 5. 骨関節の炎症性疾患 6. 骨腫瘍 7. 脊椎の疾患 8. 下肢の疾患 9. 麻痺性疾患 10. 筋および腱の疾患 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 整形、リウマチなどの運動器疾患をわかりやすく解説します。ぜひ、運動器疾患を理解して臨床現場で患者さんのQOL（quality of life：生活の質）の向上のためにいかして下さい。</p> </div> <p>②脳神経</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 脳神経・脳の血管・脊髄の解剖生理 2. 脳神経系疾患患者の症状と検査 意識障害、運動機能障害、けいれん、頭蓋内圧亢進、頭痛、髄膜刺激症状 3. 脳神経系が障害されて起こる疾患 脳腫瘍、頭部外傷、脳血管障害、脊椎・脊髄疾患、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症等 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 脳神経は難しくないです。楽しく一緒に学びましょう。</p> </div>				
評価方法	筆記試験	試験予定	1年次2月		
参考書	①専門分野Ⅱ 成人看護学10 運動器（医学書院） ②専門分野Ⅱ 成人看護学7 脳・神経（医学書院）				
その他	本科目受講には、解剖生理学Ⅰの合格が必要である。				

疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	治療論Ⅳ Therapeutics Ⅳ	①内分泌・代謝、 アレルギー	講師名	①神田 周平 大坂 学	
		②腎・泌尿器		②大瀬 貴元 赤倉 功一郎	
		③女性生殖器		③	
学年	①1年	講義時期	①後期	単位・時間数	①1単位(30)の内の(14)
	②1年		②後期		②1単位(30)の内の(10)
					③1単位(30)の内の(5)

講義のねらい	内分泌・代謝、免疫機構、腎・泌尿器により出現する症状のメカニズムと検査、治療および処置を理解し、看護を展開するための基礎知識を学ぶ。				
学習目標	<p>〈内分泌・代謝、アレルギー〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 内分泌の不均衡や代謝異常、免疫機構の破綻により現れる症状について原因・病態生理を理解できる。 2. 疾患の診断に必要な検査及び治療法を理解できる。 3. 糖尿病患者への指導方法が理解できる。 4. 糖尿病患者の生活習慣や価値観を尊重した支援の重要性について考えることができる。 <p>〈腎・泌尿器〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 腎泌尿器系の障害により現れる症状について原因・病態生理を理解できる。 2. 疾患の診断に必要な検査及び治療法を理解できる。 3. 排泄障害やストーマ造設患者へのケアについて理解できる。 4. 排泄障害やストーマ造設患者の心理／社会的影響について考えることができる。 <p>〈女性生殖器〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 女性生殖器の障害により現れる症状について病態生理が理解できる。 2. 疾病の診断に必要な検査および治療について理解できる。 				
講義内容	<p>①内分泌・代謝、アレルギー</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各ホルモンと疾病の関係、起こる症状、検査の見方、治療 2. 糖尿病（診断基準、症状、治療、合併症）／高脂血症、肥満症 3. 糖尿病患者への指導 4. 膠原病などの自己免疫疾患 <p>②腎・泌尿器</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 腎・泌尿器系の解剖・生理 2. 腎・泌尿器系が障害されて起こる症状と検査 3. 腎・泌尿器系が障害されて起こる疾患 悪性腫瘍、腎不全、結石症、前立腺肥大症など 4. 排泄障害やストーマ造設患者へのケア <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【受講にあたって】</p> <p>この2つの器官は普段の生活ではあまり意識することはありませんが、実は体の微妙な調節・統合を行っている大切な器官です。難しいとは思いますが、復習をしてわからないところは積極的に質問して理解するようにしてください。</p> </div> <p>③女性生殖器</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 女性生殖器の疾患と検査、治療 <ol style="list-style-type: none"> ①良性疾患（子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫） ②悪性疾患（子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌） ③生殖機能障害（月経異常、更年期障害） 				
評価方法	筆記試験	試験予定	2年次5月		
参考書	<p>①専門分野Ⅱ 成人看護学6 内分泌・代謝（医学書院）</p> <p>①専門分野Ⅱ 成人看護学11 アレルギー 膠原病 感染症（医学書院）</p> <p>②専門分野Ⅱ 成人看護学8 腎・泌尿器（医学書院）</p> <p>②専門分野Ⅱ 成人看護学5 消化器（医学書院）</p> <p>③専門分野Ⅱ 成人看護学の女性生殖器（医学書院）</p>				
その他	本科目受講には、解剖生理学Ⅰの合格が必要である。				

疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	治療論V Therapeutics V	①眼 ②皮膚	講師名	①眼：間山 千尋 ②皮膚：	
		③歯 ④耳		③歯：長澤 宏和 ④耳：月舘 利治	
学年	①～④2年	講義時期	①～④後期	単位・時間数	①③1単位(30)の内の(①6②8)
					②④1単位(30)の内の(①7②8)

講義のねらい	感覚器疾患は全身疾患との関連が深く、日常生活に及ぼす影響が大きいことを踏まえ、感覚器の障害により出現する症状のメカニズムと検査、治療および処置を理解し、看護を展開するための基礎知識を学ぶ。				
学習目標	<p>〈眼〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 眼の構造、視覚の生理を理解し、眼疾患の主な症状、病態生理を全身疾患との関連において理解できる。 2. 眼疾患が日常生活に及ぼす影響を理解し、心身の苦痛の緩和、疾患の回復に向けた援助方法を理解できる。 <p>〈皮膚〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 皮膚の構造と働きを理解し、皮膚疾患の主な症状の原因と病態生理を全身との関連において理解できる。 2. 皮膚疾患が心身に及ぼす影響を理解し、心身の苦痛の緩和、患者が疾病を正しく受け止め、心身ともに健康な生活が営めるような援助方法を理解できる。 <p>〈耳〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 耳鼻咽喉の構造と働きを理解し、耳鼻咽喉疾患の主な症状、病態生理を理解できる。 2. 耳鼻咽喉疾患が日常生活に及ぼす影響を理解し、心身の苦痛の緩和、疾病の回復に向けた援助方法を理解できる。 <p>〈歯〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活を営む上で、歯、口腔の構造と働きが果たす役割を理解できる。 2. 歯、口腔疾患の主な症状と病態生理を理解し、さまざまな苦痛の緩和、疾病の回復への援助、歯科保健面での予防教育が果たす役割について理解できる。 				
講義内容	<p>①眼</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 眼の解剖生理・機能 2. 眼疾患の病態生理と検査、治療、援助 <p>②皮膚</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 皮膚の解剖生理・機能 2. 皮膚疾患の病態生理と検査、治療、援助 湿疹・皮膚炎, 細菌感染症, 悪性黒色腫 <p>③耳</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 耳の解剖生理・機能 2. 耳鼻咽喉疾患の病態生理と検査、治療、援助 代表的疾患、経過別援助、援助技術（鼻出血、気管切開、カニューレ交換） <p>④歯</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔・歯・歯周組織の解剖生理と機能 2. 顎関節・口腔軟組織の病態生理と検査、治療、援助 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【受講にあたって】 日常生活を送っていく上で、感覚器からの情報はとても重要です。どれも短い講義ですので、1回1回を大切にして受講してください。</p> </div>				
評価方法	筆記試験	試験予定	2年次12月		
参考書	<p>①専門分野Ⅱ 成人看護学13 眼（医学書院）</p> <p>②専門分野Ⅱ 成人看護学12 皮膚（医学書院）</p> <p>③専門分野Ⅱ 成人看護学14 耳鼻咽喉（医学書院）</p> <p>④専門分野Ⅱ 成人看護学15 歯・口腔（医学書院）</p>				
その他	本科目受講には、解剖生理学Ⅰの合格が必要である。				

疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	治療論Ⅵ リハビリテーション Therapeutics Ⅵ		講師名	むろう 室生 祥
学年	2年	講義時期	前期	単位・時間数
				1単位 (15)

講義のねらい	疾病により生活行動に障害を持った対象へのリハビリテーションのあり方を理解し、看護を展開するための基礎知識を学ぶ。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. リハビリテーションの基本的考え方が理解できる。 2. 障害者の日常生活行動を再構築するための基本が理解できる。 3. 主な機能障害のリハビリテーションの進め方が理解できる。 4. 障害を持つ人の社会生活復帰への援助について考えることができる。 			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. リハビリテーションの思想と看護 2. 廃用症候群 3. 基本技術 <ol style="list-style-type: none"> ①正しい姿勢の保持と体位変換、他動運動 ②褥瘡と拘縮の予防 ③座位から歩行まで ④日常生活動作の自立に向けた訓練指導 ⑤言語障害に対する援助と指導 ⑥家庭復帰と社会復帰 ⑦嚥下障害へのアプローチ 4. 脳卒中におけるリハビリテーション 5. 脊髄損傷におけるリハビリテーション <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】</p> <p>リハビリテーション医学は疾患によって生じた「障害」を対象としているところに特徴があります。例えば脳梗塞という疾患を理解した上で、片麻痺をどうするか、歩行障害や就労困難をどう解決するか、を考えます。能力を再獲得し「障害」を克服するというリハビリテーション医学の「治療」は学習の過程です。医療スタッフは多職種の協働によって現実的な目標を設定し、患者さんやご家族の主体性を引き出し、合理的な学習過程を提供します。</p> <p>医療、医学の発展によって障害をもって社会に復帰する人々が増えています。どの科、どの施設で働く場合でも、リハビリテーション医学を学んでおくことは役に立つと確信しています。</p> </div>			
評価方法	筆記試験	試験予定	2年次5月	
参考書	別巻 リハビリテーション看護 (医学書院)			
その他	本科目受講には、解剖生理学Ⅰの合格が必要である。			

疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	治療論Ⅶ 手術療法 Therapeutics Ⅶ			講師名	山形 誠一 他
学年	1年	講義時期	後期	単位・時間数	1単位 (30)
講義のねらい	外科的な治療・処置を受ける患者の看護を学ぶ上で必要な、外科的診断法・手術手技、手術侵襲や生体反応などの医学的な基礎知識を学ぶ。				
学習目標	1. 外科的治療・処置が全身に及ぼす影響と、手術療法が行われる代表的疾患と術式、および管理と合併症について理解できる。				
講義内容 〔外科総論〕	1. 外科的治療について 2. 外科的治療における諸問題 3. インフォームドコンセント 4. 損傷・炎症・腫瘍について				
〔外科各論〕	〔上部消化管〕 胃癌、食道癌、食道静脈瘤について 〔下部消化管〕 大腸癌、下部消化管の良性疾患について 〔胸部〕 乳癌、肺癌 悪性腫瘍に関する疫学 〔頸部、肝臓、胆嚢、膵臓〕 甲状腺、上皮小体、リンパ系疾患、肝癌、胆嚢癌、膵臓癌				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】</p> <p>手術を中心とした外科治療は患者さんの体に侵襲を与える不利な点がありますが、とても効果の高い治療法です。手術前後の患者さんの精神的、身体的負担はとても大きいのですが、患者さんの不安を解消し、異常の早期発見をし、良好な結果を得るために看護師の役割はたいへん重要です。</p> <p>より良い看護を行うためには手術治療の医学的内容をよく理解しておく必要があります。手術療法にかかわるさまざまな問題を一緒に勉強していきましょう。</p> </div>				
評価方法	筆記試験	試験予定	1年次2月		
参考書	別巻 臨床外科看護総論・各論 (医学書院)				
その他	本科目受講には、解剖生理学Ⅰの合格が必要である。				

疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	薬理学 Clinical Pharmacology		①薬理	講師名	①佐野 真由美 藤掛 沙織
			②麻酔		②児玉 里砂
学年	1年	講義時期	後期	単位・時間数	①1単位(30)の内の16
					②1単位(30)の内の14

講義のねらい	①治療の中心的役割を果たす、薬物の特徴、作用機序、人体における薬物の有効性と有害性、疾患と薬物の関係について理解し、薬物療法を安全に行う基礎的知識を学ぶ。 ②麻酔の概念と麻酔法に関する基礎的知識を学び、主な麻酔薬の人体における有用性と有害性について理解し、麻酔法を安全に行う基礎的知識を学ぶ。				
学習目標	〈薬理〉 1. 主な薬物の特徴、作用機序、有効性と有害性、特徴について理解できる。 2. 薬物療法を安全に行うための基礎知識を理解できる。 〈麻酔〉 1. 麻酔の概念と麻酔法の基礎知識を理解できる。 2. 主な麻酔薬の作用及び人体への影響、麻酔の合併症を理解できる。				
講義内容 〈薬理〉	[薬理の基礎知識] 1. 薬理学について 薬とは何か 2. 薬理作用 3. 薬の適用 [各論] 4. 中枢神経系に作用する薬物 5. 抗菌薬について 6. 消毒薬について 7. 免疫治療薬・アレルギー治療薬に関する薬理 8. 非ステロイド系抗炎症治療薬に関する薬理 9. 神経活動に作用する薬物(末梢) 10. 心臓・血管系に作用する薬物 11. 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 12. 抗癌剤の薬理 13. 外用薬について 14. 救急の際に使用される薬剤 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 薬が体内でどのようにめぐり、どのように作用するのかを理解することは、よりよい看護や、医療事故の防止にとっても重要です。 一緒に薬の理(ことわり)を考えましょう！</p> </div>				
〈麻酔〉	1. 麻酔学とは 2. 麻酔の手順について 3. 麻酔の種類とそれぞれの特徴 4. 筋弛緩薬について 5. 全身麻酔の合併症				
評価方法	筆記試験	試験予定	1年次2月		
参考書	①②専門基礎分野 薬理学(医学書院) ②別巻 臨床外科看護総論(医学書院) ②カラービジュアルで見てわかる! はじめての手術看護(メディカ出版)				
その他					

疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	栄養学 Nutrition		講師名	佐々木 博 他
学年	1 年	講義時期	後期	単位・時間数
				1 単位 (30)

講義のねらい	人間の健康維持、疾病の発病や治療に栄養が大きな役割を持っていることを認識し、食事療法の基本について理解し、看護を展開するための基礎知識を学ぶ。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. エネルギー算出方法、日常生活強度、食品交換表等の食事療法に必要な基礎知識を理解できる。 2. 代表的な疾患について、病態生理と栄養の問題を関連して考え、食事療法を理解できる。 3. 食事療法メニューを考え、実際に調理する。 			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養学の歴史 2. 栄養の基礎知識 <ol style="list-style-type: none"> ①エネルギー算出方法・各栄養素の算出方法 ②日常生活強度・性/年齢階級別 ③1 単位分の食品 ④食品交換表の使い方 3. 栄養素の役割 4. 栄養補給法 <ol style="list-style-type: none"> ①経管栄養法 ②経静脈栄養法 5. 食事療法 <ol style="list-style-type: none"> ①肝疾患、脾疾患 ②腎疾患 ③高血圧 ④心疾患 ⑤肥満 ⑥脂質異常症・動脈硬化症 ⑦胃切除後 ⑧痛風・骨粗鬆症 ⑨糖尿病 ⑩貧血 ⑪クローン病 6. 調理実習 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 調理実習を2回実施します。各班ごとに献立をたてて作ります。楽しみにしてください。</p> </div>			
評価方法	筆記試験	試験予定	1 年次 2 月	
参考書	専門基礎分野 栄養学 (医学書院) 食品成分表 (女子栄養大学出版会)			
その他	小グループで治療食を考え、献立をもとに調理実習をします。(2回予定)			

健康支援と社会保障制度

科目名	医療概論 I (医療システム) Introduction to Medicine I		講師名	関根 信夫	
学年	1 年	講義時期	前期	単位・時間数	1 単位 (15)

講義のねらい	日本の医療の歴史と現代の医療システムを学び、医療の社会的役割を学ぶ。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療の歴史を理解できる。 2. 保健医療福祉の職種と役割が理解できる。 3. 現代日本の保健医療福祉サービスシステムと問題点について理解し、今後の課題について考えることができる。 			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の近代化と医療の発展 2. 現代日本の保健医療福祉システム <ol style="list-style-type: none"> ①システムを支える人々 ②保健医療福祉サービスと経済 <ul style="list-style-type: none"> ・医療施設、医療関連施設 ・医療保険について ③医療の課題 			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 日本の医療制度、社会保障制度について学びます。 授業の時間を大切にして、集中力を高めて取り組んでください。</p> </div>			
評価方法	レポート	提出期日	1 年次	
参考書	なし			
その他				

健康支援と社会保障制度

科目名	医療概論Ⅱ（医療倫理） Introduction to Medicine Ⅱ			講師名	山形 誠一 野月千春 他
学年	3年	講義時期	前期	単位・時間数	1単位（15）

講義のねらい	医療の進歩が生命倫理や現代社会に投げかけている問題を考える。				
学習目標	1. 医療現場における生命倫理について考えることができる。				
講義内容	1. 医療倫理の歴史 2. 医療倫理学の方法 3. 死と喪失 4. 性と生殖 5. 患者の権利と公共の福祉				
評価方法	筆記試験	試験予定	3年次11月		
参考書	医療倫理学の方法 原則・手順・ナラティブ 第2版（医学書院）				
その他					

健康支援と社会保障制度

科目名	公衆衛生学 I (基礎概念) Public Health			講師名	徳永 陸
学年	2年	講義時期	前期	単位・時間数	1単位 (15)

講義のねらい	人々の健康の保持・増進を図ることを目的とし、集団を対象とした保健活動を理解するための基礎的知識を学ぶ。 国際社会及び将来の日本社会を展望し、公衆衛生のあり方について考える力を養う。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人の健康と集団の健康との関係を人口動態や生活環境、保健統計を通して理解できる。 2. 諸外国の実情を知り、これからの公衆衛生のあり方について考えることができる。 				
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生学とは、疫学について 2. 健康の概念 3. 第1次予防、第2次予防、第3次予防 4. 各保健統計指標の見方 5. 国際化社会と公衆衛生 6. 今後の課題と展望 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 「公衆衛生学」にはどのようなイメージを持っていますか？ 公衆衛生学は、人々に関わる社会・生活環境、保健医療制度、社会保障福祉など、社会の中で医学がどのように機能するかを学ぶ学問です。病気の個人を対象とするのではなく、集団として社会を見ていく点に特徴があります。医学と社会を媒介する役割を果たす公衆衛生学を2か月間一緒に学んでいきましょう。</p> </div>				
評価方法	筆記試験	試験予定	2年次6月		
参考書	わかりやすい公衆衛生学 (ヌーヴェルヒロカワ)				
その他					

健康支援と社会保障制度

科目名	公衆衛生学Ⅱ（実践） Public Health		講師名	徳永 陸	
学年	3年	講義時期	前期	単位・時間数	1単位（15）

講義のねらい	家族や職場・地域での健康の保持・増進の具体的な施策について学ぶ。			
学習目標	社会の健康水準を高めるための組織的な保健活動について理解できる。			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染症とその予防衛生 2. 食品保健と栄養 3. 学校保健 4. 産業保健 5. 地域保健、精神保健福祉について 6. 生活環境の保全 7. 生活習慣病、難病について <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 2年生で学んだ残りの章（保健、医療制度など）を勉強します。国家試験に向けて、2か月間復習しながら知識を固めて、ぜひ最後には合格を勝ち取りましょう。</p> </div>			
評価方法	筆記試験	試験予定	3年次11月	
参考書	わかりやすい公衆衛生学（ヌーヴェルヒロカワ）			
その他				

健康支援と社会保障制度

科目名	社会福祉 Social Welfare		講師名	一ノ瀬 裕子	
学年	2年	講義時期	後期	単位・時間数	1単位 (15)

講義のねらい	国民の生存権を保障し、生活水準を高めるための保健医療福祉の現状を学ぶ。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本社会における保健医療福祉の現状を理解できる。 2. 社会福祉制度の概要を理解し、健康や障害の状態に応じた社会資源の活用方法を理解できる。 3. 現代の社会福祉制度とサービスの実際を将来の展望を含めて理解できる。 			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉の基礎概念と歴史 2. 社会保障制度 3. 社会福祉の分野とサービス <ol style="list-style-type: none"> ①生活保護制度 ②老人福祉 ③障害者 ④児童福祉・母子福祉 4. 社会福祉の現状と今後の課題 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 社会福祉を学ぶとは、法律、制度、サービスの種類を知識として学ぶだけでなく、それらを活用しながら援助を必要とする人に直接はたらきかけ、その人が主体的に自らの人生を切り開いていける力を身につけられるようにすることです。授業は制度の話が中心になりますが、実践者の姿もご紹介できればと考えています。よろしくをお願いします。</p> </div>			
評価方法	筆記試験	試験予定	2年次12月	
参考書	専門基礎分野 社会福祉 (医学書院)			
その他				

健康支援と社会保障制度

科目名	看護関係法規	Medical and Nursing Law	講師名	鈴木 諭子
学年	3年	講義時期	後期	単位・時間数
				1単位 (15)

講義のねらい	法の基礎的概念を理解し、看護と保健・医療・福祉に関連する法規の種類と特徴を理解し、看護専門職としての責任を自覚する。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療を取り巻く社会の変化と法律について理解できる。 2. 保健医療福祉における重要な関係法規を理解できる。 3. 保助看法を理解し、看護職者の免許、業務などの法的解釈を理解できる。 			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法の概念 2. 看護法 保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法律 3. 労働法 労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、雇用保険法 育児休業、介護休業法 4. 医事法 医療法、医療を支える法（医療介護総合確保法、独立行政法人地域医療機能推進機構法、移植医療に関する法律、人の死に関する法律、緊急時の看護・医療に関する法律） 5. 保健衛生法 地域保健法、健康増進法 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、母子保健法、母体保護法、がん対策基本法自殺対策基本法、難病の患者に対する医療などに関する法律 （感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、予防接種法） 6. 薬務法 医薬品、医療機器などの品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 麻薬及び向精神薬取締法、毒物及び劇物取締法 7. 社会保険法 健康保険法、国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律 （介護保険法）国民年金法 8. 福祉法 社会福祉法、生活保護法、児童福祉法、老人福祉法、障害者に関する法律 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 医療制度が変動する中で看護師には、ますます法的知識が必要です。看護職を法的に位置づけている保助看法を中心に、看護を行う上で特に重要な法律をわかりやすく説明したいと思っています。 又、国家試験対策として過去問題を活用し学習をすすめます。</p> </div>			
評価方法	筆記試験	試験予定	3年次11月	
参考書	専門基礎分野 看護関係法令（医学書院）			
その他				